

1年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に届く声で適切に話すことや、話し手に体を向けてあいづちをうちながら聞くことが課題である。 ・鉛筆の正しい持ち方や適切な筆圧を身に付け、正しい筆順と字形を習得することが課題である。 ・正しい言葉や文の書き方（促音・拗音・長音・助詞はへを）の習得が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方や話し方についてのポイントを常時掲示することで意識化を図り、場に応じた声の大きさで話すことやあいづちを打ちながら聞くことができるようにする。 ・年間を通じて、視聴覚教材を活用しながら視覚的に正しい鉛筆の持ち方の指導を継続する。また、家庭学習の際にも正しい鉛筆の持ち方、筆順、字形の確認を行い、定着を図ることができるよう家庭と連携する。 ・音読や読書を通じて正しい助詞の使い方を身に付けられるようにする。また、日常的にミニテストを行ったり練習問題に取り組んだりして、言葉や文章の正しい書き方を習得できるよう指導する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・足し算の意味（合成・増加）を理解しているが、求残以外の引き算の意味（求補・求差）を理解することが課題である。 ・文章題の題意を的確につかみ、正しく立式したり、複数の方法で表現したりすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック操作による説明、図と式と答えを自力で解決する時間を保証すると共に、問題文の分かっていること（条件）と聞かれていることを明確にし、既習事項を使って考え、立式できるようにする。 ・数の関係を図・式・言葉で表せるようにするために、電子黒板等を活用し、互いの考えを共有することで様々な表現や処理の方法を学ぶ機会を設ける。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然に着目し、成長し、変化していく不思議さに気付いたり、自然の物を使って工夫して遊んだりする経験が必要である。 ・活動や体験を言葉や絵で的確に表現することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を設けて観察や活動をすることで自然への気付きを深め、科学的な見方や考え方の基礎を養う。また、工夫した点を紹介しあうことで、遊びを創造する力を伸ばす。 ・複数の児童の観察カード等を電子黒板で提示したり、気付いたことを発表したりすることを通して、様々な表現の仕方に触れ、ヒントを得ながら、自らの表現の幅を広げられるようにする。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わりながら、楽しく意欲的に音楽活動に取り組むことに手だてを講じる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの声や音を聴きながら歌ったり、手拍子で拍を打ったりする活動を通して、音楽活動を楽しめるようにする。また、友達の表現の良いところを言葉で伝え合えるよう交流を促していく。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な道具（のり・はさみ・クレパス）の正しい使い方を十分身に付けることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方が身に付く課題を用意し、繰り返し取り組むことで基礎的な技能の習熟を図る。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら体を動かすことができているが、様々な運動の特性に応じた技能を身に付けることに課題がある。 ・自ら学習を振り返り、簡単な次のめあてを立てることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ、ボール投げ、マット運動等、それぞれの運動特性を踏まえた運動遊びを繰り返し行うことで、様々な動きに慣れ、自分の体を思うように動かせるようにする。また、スモールステップで学習計画を立てたり、ICT機器を活用して自分の動きを確認したりすることで、効果的に技能を身に付けられるようにする。 ・学習カード等を活用し、「めあて→取り組み→振り返り」という学習サイクルを作る。 	